

平成29年度第1回サバティカル研修成果報告



メタデータ	言語: Japanese 出版者: 金沢大学保健管理センター 公開日: 2025-05-07 キーワード: 作成者: 足立 由美 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/0002002542

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.



平成29年度第1回サバティカル研修成果報告

足立 由美



平成29年度第1回 サバティカル研修成果報告会



2017年6月15日
保健管理センター 足立 由美



サバティカル研修について

- 研修期間
 - 平成28年8月1日～平成29年2月29日
(2016.8.1～2017.2.29)
- 研修場所
 - Oregon State University (米国)
(2016.8.22～2016.9.16)
 - 大阪大学、株式会社カオテック研究所 (日本)
(2016.10.1～2017.2.29)



2



研修期間中の業務代替計画

1. 授業、教育: 該当なし(不開講または集中講義で実施)
2. 管理運営:
 - 学内委員(学生生活委員会委員、障がい学生支援委員会委員)については、保健管理センター教員に代理出席を依頼する。
3. その他:
 - カウンセリング業務については、現在のスタッフはすでに多くのケースを担当していて代替が不可能なため、非常勤カウンセラーを10月から2月まで週18時間追加で雇用し、研修期間中のケース担当を依頼する。
 - ケースのスーパーバイズは行う。



3



金沢大学の学生相談の現状

- 未発達な学生への教育・発達支援的かかわりの増加
 - カウンセリングの前に主体性の育成が必要で、時間がかかる
- 家族(保護者)、教職員からの相談の増加
 - 連携・協働の増加
- 就職期の困難に付随する学生への対応の増加
 - 深刻なケースが増加
- 発達障害が疑われる学生の増加
 - 福祉領域のケース対応
- 精神科への抵抗
 - 医療領域のケース対応
- 危機対応ケースの増加
 - Prevention, Intervention, Postvention



4



取り組んできたこと

- 1 一次予防 (対人関係スキル等のプログラムと教育コミュニティ熟成)
 - GS科目、自由履修科目による健康教育
 - 学生支援プログラムによる健康教育
 - 教職員へのFD・SD研修
- 2 二次予防(問題の早期発見と適切な相談・対処)
 - 呼び出し面接(健診)
 - プログラムによる面接(性格検査等)
- 3 三次予防(当事者への継続的ケアと再発防止)
 - 自主来談への対応
 - 教職員からの紹介、教職員の相談への対応
 - 家族からの紹介、家族の相談への対応
 - コミュニティにおける危機対応(事件、事故、自殺等)

5




調査研究題目・研究内容

大学生のメンタルヘルスの測定と予防的介入

- 研究1(一次予防)
 - Oregon State Universityにおけるstudent support programs and servicesの調査
- 研究2(二次予防)
 - 健診におけるメンタルヘルスチェック結果の解析
- 研究3(三次予防)
 - 学生相談におけるメンタルヘルス不調者の解析


6


金沢大学
 KANAZAWA

研究1の成果

- 8/21から4週間オレゴン州立大学に客員研究員として滞在し、インタビューおよび観察調査を行った。研究成果は論文2本にまとめ、2017年3月と5月に公表されている。
- 2017年6月にAmerican College Health AssociationのAnnual Meetingでポスター発表を行った。
- 2017年9月日本心理学会の公募シンポジウムで発表予定である。


7


金沢大学
 KANAZAWA

研究2の成果

- 研修先である大阪大学の2014-2016年度の新生健康診断データを用いて、メンタルヘルスチェックの結果や性別・学部別分析を行い、論文にまとめ、2017年5月に公表されている。
- 金沢大学のデータについても、健診時の調査結果と保健管理センター来談状況のデータをマッチングさせ、2016年10月に全国大学保健管理研究集会においてポスター発表を行った。


8


金沢大学
 KANAZAWA

研究3の成果

- 学生相談室に來談した学生から被験者を募集し、脈派の計測、心理検査の実施を行った。脈派のダイナミック心拍変動スペクトル解析については、研修先であるカオテック研究所において、助言をもらいながらデータ処理を行った。(継続中)
- 科学研究費(基盤研究B一般)『メンタルヘルスにおける自律神経機能と自己抗体の関与-香り効果に関する前向き研究』(平成27-29年度)研究分担者(研究代表者・吉川弘明)
- 科学研究費(基盤研究C一般)『心拍変動スペクトル解析によるカウンセリング効果の分析』(平成28-30年度)研究代表者(2016年10月追加採択)

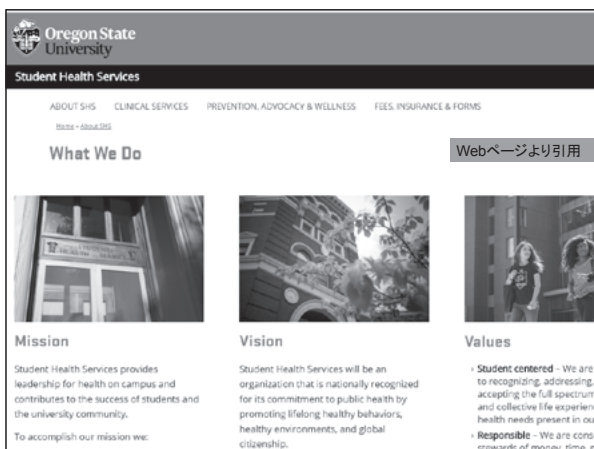
9


金沢大学
 KANAZAWA

研究成果の公表

- 足立由美, オレゴン州立大学における統合的な学生支援サービス-施設見学、参加したミーティングの報告-. 金沢大学保健管理センター年報・紀要, 2017;9(通巻43):62-67.
- 足立由美, オレゴン州立大学における健康管理の現状. Campus Health, 2017;54 (2):in print. (依頼論文)
- 足立由美, 水田一郎, 工藤喬他. 新入生健診におけるメンタルヘルスチェック尺度の年次比較-3年間の性別、学部別分析-. Campus Health, 2017;54 (2): in print. (投稿論文)
- Yumi Adachi, Hiroaki Yoshikawa. Features of the total health support system of universities in the United States— cultural differences from a foreigner's standpoint. 2017 ACHA Annual Meeting, Austin, TX, June1-2, 2017 (10/12発表申し込み、1/10採択、6/1-2発表)
- 足立由美, 吉川弘明, 小笠原知子他. 健康診断における障がいのある学生の把握—2015、2016年度データの分析—. 第54回全国大学保健管理研究集会 大阪国際会議場, 大阪, 2016.10.5
- 福月聡子, 足立由美, 水田一郎他. 新入生健診時メンタルヘルスチェック(2014~16年)の年次比較. 第54回全国大学保健管理研究集会 大阪国際会議場, 大阪, 2016.10.5
- 日本心理学会第81回大会公募シンポジウム「高等教育における学生支援(2):国際化をめぐる諸課題」, 久留米シティプラザ, 福岡, 2017.9.20-22.発表予定(依頼発表)

10



Oregon State University
 Student Health Services
 ABOUT SHS | CLINICAL SERVICES | PREVENTION, ADVOCACY & WELLNESS | FEES, INSURANCE & FORMS
[Home - About SHS](#)
What We Do Webページより引用

Mission

Student Health Services provides leadership for health on campus and contributes to the success of students and the university community.


To accomplish our mission we:

Vision

Student Health Services will be an organization that is nationally recognized for its commitment to public health by promoting lifelong healthy behaviors, healthy environments, and global citizenship.

Values

- Student centered** - We are to recognizing, addressing, accepting the full spectrum and collective life experiences and health needs present in our community.
- Responsible** - We are committed to the use of resources in a responsible and forward-looking manner.


金沢大学
 KANAZAWA

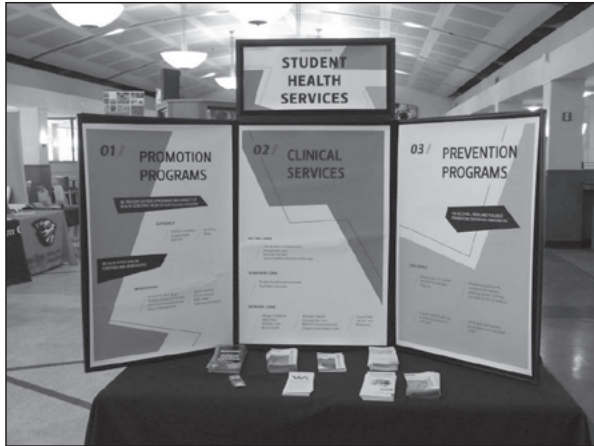
Features of the total health support system of universities in the United States


Methods:


Survey period: August 21, 2016 - September 18, 2016
 Survey Method: Interviews and observation
 We were able to visit and investigate student support services registered with OSU's Student Health Services (SHS). This includes

- Counseling and Psychological Services (CAPS),
- Dixon Recreation Center: Recreational Sports, Disability Access Services (DAS),
- and the Division of International Programs.


12





金沢大学
 KANAZAWA


サバティカル研修をふりかえって

- 研修期間は8/1～2/28の7ヶ月間だったが、8/3に学生の緊急対応が入り、渡米直前の8/19まで相談業務をしており、2/24にも学生の緊急対応が入り、サバティカル終了前から相談業務を再開していた。
- 保健管理センターという部署、業務の特殊性もあり、サバティカル研修を取得することを躊躇したが、緊急対応が入るとその後の予定をすべてキャンセルして対応しなければならない状況が複数年続いていたため、サバティカル研修期間に相談業務の責任から外れたことは、自身のメンタルヘルスのコンディションを整えることになり、大変ありがたかった。
- 研修期間中は研究を中心に集中して活動することができ、短期間に複数の論文作成、学会発表をすることができた。また将来の研究の方向性を考えることができて有意義であった。¹⁷


金沢大学
 KANAZAWA


謝辞

- サバティカル研修にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

18